

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H29目標	H29実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
重点プロジェクト1	○国の天然記念物に指定されている馬場大門のケヤキ並木を将来にわたり保護管理していきます。	ふるさと文化財課	巡回監視(並木の全樹木の生育状況調査及び危険木等の確認)と日常目視確認	春と秋の巡回監視	毎年2回	2回	2回	目標どおり順調に進捗している	秋の巡回監視では、枯損枝を発見が難しいが、問題のある箇所等を継続して監視することによって、早期対応ができる。	基本方針1 緑の保全と活用
	○用水路は、ふるさどを感じさせる田園風景を構成する重要な要素であることから、地域の住民の協力を得て、公園や緑道などと一体となった利用のあり方を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	二ヶ村緑道のポンプを修理し、安定的な通水を確保した。 市川緑道の通年通水の実現ため、経路整備を行った。	基本方針1 水辺の保全と活用
	○里道の歩道化を検討するとともに、既存の緑道などと連結し、休憩場所などがある快適な歩道のネットワーク化を推進します。	公園緑地課	緑道の整備、改修、適正な管理等による快適化	緑道の改修等	毎年1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	四谷緑道を改修整備し、歩道の拡幅など快適な空間づくりを行った。	基本方針1 緑の保全と活用
	○生産緑地を中心として、積極的に都市農地を保全します。	経済観光課 (農業委員会)	農業経営改善事業補助金により、生産緑地等農地の保全協定を締結し、農地の保全を図る。生産緑地を見回り、営農態の確認をとる。	協定農地面積	毎年60,000㎡の維持	60,000㎡	39,280㎡	やや遅れが生じているが、概ね順調	農業の担い手の減少や相続に起因する農地の売却などを背景に、指標の実績は伸び悩んでいる状況にあります。市の取組としては農地保全協定の締結に係る補助事業や生産緑地の見回りの実施など、生産緑地を中心とした農地の保全を図る取組を継続して実施しています。	基本方針1 農地の保全
	○公園・緑地の拡充や農地の保全などオープンスペースを確保し、防災機能の強化を図ります。	公園緑地課	さくら公園拡張整備	詳細設計	H30・H31整備工事	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	平成30年度の第1期工事の補助金を確保するため、東京都と協議を行い、要望を提出した。	基本方針3 防災対策
	○公立小・中学校の校舎を対象に、施設内緑化(屋上緑化、ビオトープ整備など)や、みどりのカーテンの設置を推進します。	学校施設課	ビオトープが設置されている学校施設(十小、矢崎小、南白糸台小)で施設を管理し、活用を図る。 レベルアップ事業により、樹木の剪定・刈込みを行い、樹木の維持管理の強化を図る。	ビオトープの適正な管理を行い活用を図る学校数。(3校) 樹木の剪定・刈込みを行い、樹木の維持管理の強化を図る学校数。(全校)	毎年要望に応じて実施 レベルアップ事業はH31で終了予定	33校	33校	目標どおり順調に進捗している	各学校でレベルアップ事業として樹木の伐採・剪定作業を行った。(33校)ビオトープについても、適正な管理を行い活用が図られた。(3校) 平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
	○「(仮称)府中市生物多様性保全地域戦略」の策定を検討し、自然環境の保全や野生動植物の保護、外来種対策など、地域の特性に応じた生物多様性の保全に関する実践的な取組を促進します。	環境政策課	生物多様性の普及化に向け、自然観察会、学習会などの機会を充実させ、生物多様性を知る機会を提供していきます。	人数	H26策定 H27以降は主流化 H29以降は参加人数を指標とし、H34年(2022年)は200人を目標とする。	200人	160人	やや遅れが生じているが、概ね順調	生物多様性の認知度を上げていく必要があるため、実際の活動が生物多様性の保全に結び付くような取組みの推進が必要になってくる。 平成29年度より目標と指標を変更。	基本方針1 生物多様性の保全
	○生き物の生息状況及び生息環境の現状と経年変化を把握するため、市民団体やボランティア、教育・研究機関などと協力して、調査方法を検討し、定期的に生き物調査を実施します。	環境政策課	動植物の生息状況を把握し、自然環境への関心の向上を図ります。	生きもの調査の実施回数	毎年12回	12回	12回	目標どおり順調に進捗している	月1回武蔵台公園で自然環境調査員による動植物調査を実施している。市民にも見学ができるよう一般公開している。	基本方針1 生物多様性の保全
	○東京都や関係機関と連携し、多摩川の水質浄化や流水量の確保、生態系の復活に向けた取組を推進します。	環境政策課	水質の汚染状況を継続的に監視し、環境基準の達成を目指します。	多摩川水質調査、湧水調査の実施回数	毎年14回	14回	14回	目標どおり順調に進捗している	引き続き調査、監視を継続し、調査項目については多摩川水系水質監視連絡協議会における他市の動向に注視し、適正な項目を選定すること。	基本方針1 水辺の保全と活用
	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	やや遅れが生じているが、概ね順調	市川緑道の通年通水の実現のため、経路整備を行ったが、目標とする場所までの通水ができなかった。	基本方針1 水辺の保全と活用

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H29目標	H29実績	達成度	備考	基本方針・個別目標	
11	○府中の名木百選に選定された名木や保存樹木に指定された樹木について、市及び市民が協力して保全、維持管理する新たな仕組みを検討します。	環境政策課	現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理をしていく。	保存樹木の指定	平成34年度(2022年度)に2,000本を維持	2,000 本	2,129 本	目標以上に進んでいる	民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続していく必要がある。また、落ち葉等のトラブルが発生していることから、樹木の現状把握に努め、適正な維持管理の在り方について、検討していく。このことから、現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理のあり方について検討する必要がある。	基本方針1 緑の保全と活用	
						最終目標	累積実績				
						2,000 本	2,129 本				
12	○樹林地について、保存樹林制度や市民緑地制度等により積極的な保全と活用を検討します。	環境政策課	保存樹林の現状把握と保存樹林の適正な維持管理に努めます。	保存樹林の指定	平成34年度(2022年度)に984㎡を維持	984 ㎡	984 ㎡	目標どおり順調に進捗している	民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続していく必要がある。また、落ち葉等のトラブルが発生していることから、樹木の現状把握に努め、適正な維持管理の在り方について、検討していく。	基本方針1 緑の保全と活用	
						最終目標	累積実績				
						984 ㎡	984 ㎡				
13	○開発事業が行われる際には、開発事業者との協議により、既存の緑地の保全を誘導します。	公園緑地課	まちづくり条例に基づいた緑地の確保	既存の緑地確保	毎年1か所	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	開発事業に伴う宅地造成等について、事業者が既存緑地の保全の協力を求める。また、保全が難しい場合は、地域の特性を活かした樹種の剪定や補植を行い、周辺環境との調和を図ることで、緑の連続性を高めていく。	基本方針1 緑の保全と活用	
14	○市が中心となって、所有者や隣接する商店街、自治会など市民との協働で行うけやきの管理体制を構築します。	管理課	けやき並木通りの清掃について、インフラ管理ボランティア制度の活用を促していく。	申請数	毎年20団体	20 団体	14 団体	やや遅れが生じているが、概ね順調	けやき並木通りの清掃は、周辺住民や店舗事業者により適宜行われた。短期 13団体 長期 1団体	基本方針1 緑の保全と活用	
15	○府中崖線の保全とともに、崖線と調和した土地利用を進めます。	公園緑地課	巨大化及び枯れによる樹木を選定基準に基づき、計画的な剪定を実施し、樹木の再生を図る。	枯損木の撤去及び植樹	毎年1か所 平成31年度で終了	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	今年度は54箇所の公園緑地等で、962本の樹木を伐採し、利用者の安全性や樹木間の適正な距離を確保した。	基本方針3 適切な土地利用の推進	
16	○浅間山周辺については、浅間山と調和したまち並みを形成し、環境や景観に配慮した快適なまちづくりを進めていくよう、適切な土地利用を誘導します。	計画課	景観行為の届出対象物件について、事業者と協議を行う。	達成率	達成率100%	100 %	100 %	目標以上に進んでいる	事前に相談あり協定締結している。(開発行為2件:若松町、浅間町、中高層1件:若松町老人ホーム)	基本方針3 適切な土地利用の推進	
17	○景観形成の目標及び方針を実現するため、景観協定、まちづくり誘導地区、地区計画などの活用を検討します。	計画課	開発事業等において相談があった際に景観協定について事業者と協議する	達成率	達成率100%	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	事前相談の段階で、開発事業者等から相談があった際には、景観協定の締結に向けて積極的に、お願いしている。(中高層1件)宮西町	基本方針3 景観の保全	
重点プロジェクト	18	○公共施設に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムなどを積極的に導入します。	建築施設課	太陽光発電設備を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	年度を通して、工事施行依頼書による依頼件数は、「府中市立学校給食センター新築に伴う電気設備工事」1件があり、太陽光発電設備20KWを設置しました。実績率は、依頼1件/実施1件=100%	基本方針4 地球温暖化対策
	19	○公共施設にLED照明を積極的に導入します。	建築施設課	LED照明を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	年度を通して、工事施行依頼書による依頼件数は、「府中市立学校給食センター新築に伴う電気設備工事」ほか12件あり、LED照明を2,515台設置しました。実績率は、依頼13件/実施13件=100%です。	基本方針4 地球温暖化対策
	20	○カーボンオフセットなどの地域の枠を超えた取組を推進します。	環境政策課	カーボンオフセット事業を継続し、二酸化炭素吸収量の増加を図ります。	森林整備実施面積	毎年約20ha	20 ha	21.6 ha	目標どおり順調に進捗している	次年度に向けて、佐久穂町等との協議を進めた。森林整備においては、間伐事業が主要施策であったが、間伐を実施できる面積等の減少から、今後は植林等の施策に転換していく。	基本方針4 地球温暖化対策

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H29目標	H29実績	達成度	備考	基本方針・個別目標	
	21	○自転車駐車場の適切な配置の推進や、自転車の共同利用に関する検討を行うとともに、歩行者の安全を守りつつ、自転車を利用しやすい環境(広い歩道等)の整備を図りながら、積極的に自転車等の利用を促進します。	地域安全対策課	放置自転車の撤去強化	達成率	毎年100%	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	自転車駐車場の管理を適切に行った他、放置自転車撤去や自転車安全利用キャンペーンを効果的に実施し、自転車を利用しやすい環境づくりを推進した。	基本方針4 地球温暖化対策
	22	○食材を多く買いすぎない、食べ残しをしない、生ごみは一絞りで水分を取るなど、自ら実践できる方法を、ごみ広報紙「府中のごみ」などを通じてPRしていきます。	ごみ減量推進課	市民に府中市のごみの現状・ごみ減量・分別について広報、ごみ新聞等で周知する。	1人1日あたりのごみ量	平成34年度(2022年度)1人1日あたりのごみ量590.7g	595 g	608 g	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい。	広報紙やテレビ広報、市内イベントでのブース出展、年2回のごみ新聞「府中のごみ」発行などでごみ減量や3Rについての啓発を継続して行った。減少傾向にはあるものの目標の達成には及ばず、新たな取組みを交えながら更なる啓発を行っていく。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
	23	○マイバッグを持参しない無関心層を取り込むため、市民団体や販売店、商店街などと連携し、単にごみ減量の観点だけでなく、デザインや機能性など様々な視点からマイバッグの持参やレジ袋の削減を呼びかけます。	ごみ減量推進課	マイバッグの持参率を上げる。	スーパー店頭で行っているマイバック持参率	平成34年度(2022年度)持参率77%	72 %	75.05 %	目標以上に進んでいる	買い物時にマイバッグを持参している方の割合が高く、老若男女問わずマイバッグを持参している人が増えている。引き続き啓発活動を継続していく。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
	24	○市内で食の資源循環を行うため、給食残さの一部を堆肥化し、市内農家などで活用する実験を行います。	ごみ減量推進課	家庭から排出される生ごみを堆肥化し、資源循環の流れを形成する。	生産堆肥量	H29年度の事業報告書作成をもって事業終了となる。	- kg	- kg	達成	H29年6月のたい肥配布及び報告書の作成をもって本事業は終了となっている。	基本方針4 ごみの適正処理の推進
	25	○ごみ減量・リサイクルを推進する販売店などの取組や成果を公表・チェックするなどの仕組みづくりを検討します。	ごみ減量推進課	ごみ減量・3R推進に取り組んでいる事業者について調査及び広報活動を行う。	広報店舗数	広報店舗数毎年5店	5 店	18 店	目標以上に進んでいる	昨年度中にホームページ上の公開が間に合わなかった市内スーパー店頭回収等の新規5店舗、ごみ新聞「府中のごみ」で古紙回収、たまごパック回収2店舗、3R通信で電動アシスト付自転車のバッテリー回収を行なっているリサイクル協力店6店舗を取材、各媒体で周知した。2月に発行した3R通信vol5において、廃消火器リサイクルシステムの窓口となっている市内5店舗に取材し紹介した。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
重点プロジェクト3	26	○小学生とその保護者を対象に、多摩川河川敷で生き物とふれあい、水辺での遊びを通じて親子で環境を学ぶ機会を提供する、「府中水辺の楽校」の開催を継続的に支援します。	環境政策課	府中水辺の楽校運営協議会の実施、水辺の楽校の実施	水辺の楽校参加者数(児童・保護者)	毎年2,000人	2,000 人	968 人	やや遅れが生じているが、概ね順調	小学生の親子に身近な多摩川において、自然に触れ合う機会を提供している。また小学校の総合学習の時間の支援をしているが、支援していた小学校が減り、参加者が減少している。原因としては、自主的な環境学習の授業が行われはじめたことがあるが、それぞれの地域により身近な環境学習が行われ、より発展的な内容となっており、水辺の楽校の参加人数の減少は環境教育の後退を示すものとは言えない。	基本方針1 水辺の保全と活用
				開催回数	年15回	15 回	13 回				
	27	○資料提供や人材派遣などの支援を行うほか、防災とまちづくりに関するセミナーやワークショップ、まちづくりリーダーの養成講座などを開催します。	防災危機管理課	防災活動を行う自治会や町会等を対象とした「防災研修会」を実施する。	防災研修会の実施	毎年1回	1 回	1 回	目標どおり順調に進捗している	予定のとおり実施することができた。	基本方針3 防災対策
	28	○市民向けに府中市の歴史読本を発行するとともに、歴史講座を開講し、府中市の歴史と文化の普及・啓発に努めます。	ふるさと文化財課	歴史講座を開講し、府中市の歴史と文化を普及・啓発する。	歴史講座の回数	毎年6回	6 回	5 回	やや遅れが生じているが、概ね順調	下期は、市史編さん審議会が予定通り開催できたが、歴史講座が予定より1回少ない、2回を開催した。	基本方針3 歴史的・文化的環境の保全
	29	○広く市民を対象とする環境に関する各種講座やイベントなどにより環境学習の普及啓発を推進します。	環境政策課	環境学習講座の年10回開催を目指します。	環境学習講座の実施回数	毎年10回	10 回	11 回	目標どおり順調に進捗している	事業については順調に進捗しているが、富士山バスツアーと浅間山のクラブが中止となっている。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
30	○自然観察会や農業体験、野外体験学習など自然とふれあえる体験学習を推進します。	環境政策課	自然との触れ合いの場を提供し、心身の健やかな成長と環境への関心の向上を図ります。	田んぼの学校の開催回数	毎年5回	5 回	5 回	目標どおり順調に進捗している	年度初めに少し計画変更が生じたが、事業全体では例年どおりに実施できた。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進	

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H29目標	H29実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
31	○市民参加で自然環境調査や生活環境調査を実施し、調査結果を蓄積するとともに環境学習などに活用します。	環境政策課	動植物の生育状況を通じて、動植物を取り巻く環境の変化を学ぶとともに、自然環境への関心の向上を図ります。	動植物観察調査の開催回数	毎年25回	25回	26回	目標どおり順調に進捗している	調査を継続して状況把握に努めるとともに、市民へ啓発を行っていく。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
32	○環境保全活動を行う市民ボランティアを養成し、支援するとともに、環境保全活動のグループづくりなどを支援します。	環境政策課	環境保全活動センターの役割、活動内容を精査し、機能拡充に努めます。また、情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターの認知度向上を目指します。	環境保全活動センターサポーターの登録人数	平成34年度(2022年度)までに100人	最終目標 83人 100人	累積実績 72人 72人	やや遅れが生じているが、概ね順調	サポーターの登録数や参加者については、やや遅れているが、検討調整において、今後の方向性や部会の再編等を検討しているため、概ね順調と言える。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
33	○環境学習のリーダーを育成します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6回	7回	目標どおり順調に進捗している	高齢者の受講生が多いため、若者の人数を増やしていく。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
34	○エコ・リーダーの育成等を推進し、市民・事業者・府中市のパートナーシップによる環境保全や環境学習への取組を推進します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6回	7回	目標どおり順調に進捗している	受講生の年齢が高いため、若者の参加を進めていく。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
35	○地域ごとに市民の手による緑化を先導する中核的なリーダーを発掘・育成するため、リーダー育成講習会や各種講座を開催します。	環境政策課	市内の自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援する。	自然観察会や学習会の開催(参加人数)	毎年100人	100人	93人	目標どおり順調に進捗している	自然観察会や学習会を通じて、様々なイベントを企画することで、より多くの市民に自然に対する興味や関心を持つ機会を提供することができた。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
36	○府中市環境保全活動センターを活用し、グループによる環境保全活動のPRや情報提供を行うとともに、相互の交流を推進します。	環境政策課	情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターのサポーターの増員と認知度向上を目指します。	環境保全活動センターサポーターの登録人数	平成34年度(2022年度)までに100人	最終目標 83人 100人	累積実績 72人 72人	やや遅れが生じているが、概ね順調	ホームページの更なる活用と、サポーターの登録数アップ及び活用を検討。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
37	○府中市環境保全活動センターを活用し、市民や事業者へ環境情報の提供や市民や事業者からの環境情報の収集を行います。	環境政策課	「かんきょう活動センターだより」やホームページを活用し、環境情報の収集・発信に努めます。	「かんきょう活動センターだより」の発行回数	毎年4回	4回	4回	目標どおり順調に進捗している	ホームページの活用は順次図られているが、サポーターへのメール配信等による環境関連事業の情報発信について検討。	基本方針5 市民・事業者・行政の連携
38	○学校施設については、子どもたちが自然とふれあう機会を増やすとともに、粉じんの抑制やヒートアイランド現象の緩和などの環境対策や校庭開放による地域コミュニティ活動の促進を図るため、校庭の芝生化を計画的に進めます。	学校施設課	校庭芝生化が完了した学校において、維持管理を施設利用者や地域の方と協働で進めていく。	維持管理の校数	毎年8校	8校	8校	目標どおり順調に進捗している	芝生状況を把握し、適切に管理できている。	基本方針1 緑の保全と活用
39	○公立小・中学校を対象に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを建替え及び大規模改修等の際に導入します。	学校施設課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入する。	導入済み校数	平成34年度(2022年度)までに7校	最終目標 3校 7校	累積実績 3校 3校	目標どおり順調に進捗している	本年度、導入予定校はありません。平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
40	○導入に当たっては、生徒の学習効果を高めるため、発電量の見える化を図ることや、太陽光発電システム等の原理・構造などを紹介した学習教材を整備します。	教育総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入した学校に発電量などを表示する。	導入済み校数	平成34年度(2022年度)までに7校	最終目標 3校 7校	累積実績 3校 3校	目標どおり順調に進捗している	本年度、導入予定校はありません。平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
41	○公立小・中学校の敷地内に、雨水の貯水タンクや貯水槽を設置し、雨水利用による省資源対策を推進します。	学校施設課	小・中学校の建替え及び大規模改修に併せ、雨水利用施設を設置する。	導入済み校数	平成34年度(2022年度)までに7校	最終目標 7校 7校	累積実績 7校 7校	目標どおり順調に進捗している	本年度、導入予定校はありません。平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策